

## 2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 株式会社タカトリ 上場取引所 東  
 コード番号 6338 URL http://www.takatori-g.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増田 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営管理部長 (氏名) 岡島 史幸 TEL 0744-24-8580  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2020年9月期第1四半期の連結業績 (2019年10月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	776	△9.0	△265	—	△259	—	△359	—
2019年9月期第1四半期	853	△6.8	△232	—	△226	—	△252	—

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 △337百万円 (-%) 2019年9月期第1四半期 △271百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	△65.85	—
2019年9月期第1四半期	△46.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	7,966	4,934	61.9
2019年9月期	8,480	5,341	63.0

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 4,934百万円 2019年9月期 5,341百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年9月期	—				
2020年9月期 (予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,405	△14.3	△170	—	△161	—	△271	—	△49.73
通期	6,163	15.8	159	—	181	207.3	45	△55.1	8.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	5,491,490株	2019年9月期	5,491,490株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	31,092株	2019年9月期	31,092株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	5,460,398株	2019年9月期1Q	5,460,398株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、良好な雇用・所得環境を背景に内需が底堅く推移するほか、大統領選を控え景気に配慮した政策運営などにより、緩やかな成長が持続しております。しかし、米中貿易摩擦をめぐる先行き不透明感や地政学リスク等の景気が失速するリスクも懸念されております。欧州では、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移するものの、製造業における在庫調整が重石となり、景気回復は足踏みの状況となっております。中国では、米中貿易摩擦による対米輸出は減少しているものの、政策による下支えにより、景気底入れが明確化する見通しとなっております。

一方、国内経済は、消費税増税の影響で景気は一時的に落ち込むものの、経済対策等により再び緩やかな景気回復軌道に復帰する見通しとなっております。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子部品業界においては、世界的なスマートフォン需要の一服などから増勢が鈍化しており、貿易摩擦などを背景とした販売環境悪化による市場縮小が想定され、市場環境は楽観視できない状況となりました。

このような状況の中、電子機器事業につきましては一部で堅調さが見られたものの、全体的には低調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましては堅調に推移いたしました。

損益面につきましては、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めてまいりましたが、競争激化に伴う採算の悪化及び受注機会の変失等により十分な売上高を確保することができず、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに損失を計上することとなりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、776百万円（前年同四半期比9.0%減）、営業損失は265百万円（前年同四半期は営業損失232百万円）、経常損失は259百万円（前年同四半期は経常損失226百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は359百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失252百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (電子機器事業)

ディスプレイ製造機器では、スマートフォン・タブレット向けディスプレイ市場の飽和状態が続いており、各社とも中小型液晶パネルへの新規投資を控え、コスト重視の新機種対応の為の既存機改造が中心の状況が継続しております。また、有機EL市場においても製造コスト低減・歩留りアップの開発途上で、新規投資タイミング・サイズを見定めている状況の為、装置需要は低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。

半導体製造機器では、スマートフォン向け電子部品、LSI向けの需要落ち込みの影響や車載関係・パワー半導体・ディスクリット向け量産装置は、前年からの投資に一服感がみられ低調に推移いたしました。このような状況の中、顧客ニーズに対応した提案を行うことや海外への販売体制の強化から前年同期並みの受注は確保したものの販売額は減少いたしました。

新素材加工機器では、パワーデバイス関連市場を中心に受注・売上が堅調に推移いたしました。

また、その他の材料市場からの受注も増加しており、今後も受注・売上の増加が見込め、全体的に好調な状況が継続しております。このような状況の中、販売額は増加いたしました。

その結果、売上高は699百万円（同10.8%減）、セグメント損失は215百万円（前年同四半期のセグメント損失は180百万円）となりました。

#### (繊維機器事業)

アパレル業界では、一部好調なメーカーの設備更新・増設が行なわれ堅調に推移いたしました。一方、炭素繊維裁断機市場の冷え込みは継続し、一般産業素材向け裁断機においても低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は微増となりました。

その結果、売上高は76百万円（同16.3%増）、セグメント損失は18百万円（前年同四半期のセグメント損失は21百万円）となりました。

#### (医療機器事業)

医療機器事業では、「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」は、前年度に引き続き、市販後臨床調査を行うとともに、学会での企業展示出展、医療機関への臨床試用貸出しを行いました。また、国内の医療機器メーカーに向けて、製造工程の自動化・省力化に資する医療機器製造装置を販売いたしました。

ヘルスケア分野においては、大学と連携し、加速度トレーニングマシンの共同研究開発を行っております。

その結果、売上高は69百万円（同80.3%減）、セグメント損失は32百万円（前年同四半期のセグメント損失は30百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて514百万円減少し、7,966百万円(前連結会計年度末は8,480百万円)となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて300百万円減少し、5,249百万円(前連結会計年度末は5,549百万円)となりました。これは、主に現金及び預金が182百万円減少、受取手形及び売掛金が361百万円減少、棚卸資産が136百万円増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて213百万円減少し、2,717百万円(前連結会計年度末は2,931百万円)となりました。これは、主に投資有価証券が52百万円減少、繰延税金資産が53百万円減少等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて106百万円減少し、3,032百万円(前連結会計年度末は3,138百万円)となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて80百万円減少し、2,707百万円(前連結会計年度末は2,788百万円)となりました。これは、主に買掛金が76百万円増加、電子記録債務が293百万円減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて26百万円減少し、324百万円(前連結会計年度末は350百万円)となりました。これは、主に長期借入金が28百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて407百万円減少し、4,934百万円(前連結会計年度末は5,341百万円)となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失359百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,861,904	1,679,799
受取手形及び売掛金	1,971,629	1,610,482
電子記録債権	21,703	3,213
製品	127,567	207,643
仕掛品	1,085,077	1,145,986
原材料及び貯蔵品	413,858	409,700
その他	67,393	192,176
流動資産合計	5,549,134	5,249,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,200,332	1,178,214
土地	781,479	781,479
その他 (純額)	149,590	148,672
有形固定資産合計	2,131,402	2,108,365
無形固定資産		
投資その他の資産	66,637	62,043
投資その他の資産		
投資有価証券	255,106	202,901
繰延税金資産	281,148	227,934
その他	197,081	116,260
投資その他の資産合計	733,336	547,096
固定資産合計	2,931,376	2,717,506
資産合計	8,480,511	7,966,509

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	307,917	384,548
電子記録債務	820,444	526,658
短期借入金	1,100,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	180,044	157,547
未払法人税等	4,749	3,018
賞与引当金	32,498	63,311
その他	342,676	472,844
流動負債合計	2,788,330	2,707,927
固定負債		
長期借入金	292,500	263,750
資産除去債務	31,416	31,576
その他	26,542	29,002
固定負債合計	350,458	324,329
負債合計	3,138,788	3,032,256
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	3,034,058	2,604,023
自己株式	△17,342	△17,342
株主資本合計	5,332,267	4,902,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,666	35,828
為替換算調整勘定	△7,211	△3,808
その他の包括利益累計額合計	9,455	32,020
純資産合計	5,341,722	4,934,253
負債純資産合計	8,480,511	7,966,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	853,881	776,650
売上原価	803,370	771,442
売上総利益	50,511	5,208
販売費及び一般管理費	282,733	270,868
営業損失(△)	△232,222	△265,660
営業外収益		
受取利息	89	967
受取賃貸料	1,822	1,819
受取ロイヤリティー	1,973	—
売電収入	2,361	2,754
その他	4,624	2,725
営業外収益合計	10,871	8,267
営業外費用		
支払利息	395	586
減価償却費	1,595	1,411
持分法による投資損失	2,454	—
その他	656	456
営業外費用合計	5,102	2,454
経常損失(△)	△226,453	△259,847
特別利益		
受取保険金	3,241	—
特別利益合計	3,241	—
特別損失		
災害による損失	3,323	—
関係会社株式売却損	—	47,390
特別損失合計	3,323	47,390
税金等調整前四半期純損失(△)	△226,534	△307,238
法人税、住民税及び事業税	640	579
法人税等調整額	25,457	51,763
法人税等合計	26,097	52,342
四半期純損失(△)	△252,632	△359,580
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△252,632	△359,580



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△252,632	△359,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,996	3,312
為替換算調整勘定	△3,090	3,402
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,206	15,849
その他の包括利益合計	△19,292	22,564
四半期包括利益	△271,925	△337,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△271,925	△337,016
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

セグメントの 名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	974,146	92.3	822,931	91.4	5,050,184	92.1
繊維機器事業	77,188	7.3	76,385	8.5	399,723	7.3
医療機器事業	3,553	0.3	565	0.1	30,401	0.6
合計	1,054,888	100.0	899,881	100.0	5,480,308	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

セグメントの 名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
電子機器事業	1,143,918	2,294,421	1,381,547	2,284,386	4,561,201	1,602,404
繊維機器事業	84,384	67,758	114,707	122,500	434,838	84,178
医療機器事業	4,103	885	3,512	2,876	30,183	63
合計	1,232,406	2,363,065	1,499,767	2,409,763	5,026,223	1,686,645

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

セグメントの 名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
電子機器事業	784,640	91.9	699,565	90.1	4,893,940	91.9
繊維機器事業	65,688	7.7	76,385	9.8	399,723	7.5
医療機器事業	3,553	0.4	699	0.1	30,455	0.6
合計	853,881	100.0	776,650	100.0	5,324,119	100.0

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 主要な輸出先及び輸出販売高及び構成比は、次のとおりであります。なお、( )内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)		前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
アジア	284,808	87.7	299,709	73.3	2,001,006	75.0
その他の地域	39,926	12.3	109,154	26.7	667,442	25.0
合計	324,735 (38.0%)	100.0	408,863 (52.6%)	100.0	2,668,449 (50.1%)	100.0